

学校間や異校種間との連携を図った道徳教育の推進
平成23年度 広島県道徳教育研究協議会（第1回）

藤永 芳純

道徳教育の観点からの一貫教育の必要性

- ・園児・児童・生徒の育てにくさ
大人の物差しでだけ、子どもを評価していないか
- ・園児・児童・生徒の育ちにくさ
物騒な社会環境、受験圧力、そこそこ見通せる人生、魅力のない大人たちと大人社会、努力・誠実さの報われない社会
- ・それにもかかわらず、存在理由の獲得
なぜ生まれてきたのか、何のために生きているのか—夢、自己実現

教育課程上の制約、制度の課題

目的・理念・方法の共有

校種による違い、発達の違いを超えて

教師の交流・校種の理解

指導方法・技術の交流

何が、どの程度育っているかの共通理解

学校と地域・家庭との交流

教育の理念、方法、評価への共通理解

善・美意識の共有、大人の生き生き度、モデルへの憧憬

学ぶ（学習）楽しさ、分かる喜び、分かる体験

評価

100%をいきなり求めない—子どもにも教師にも

知育・徳育・体育・美育・信育の調和と徳育の重要性